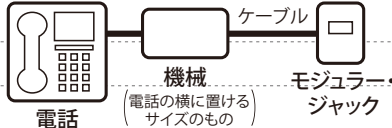
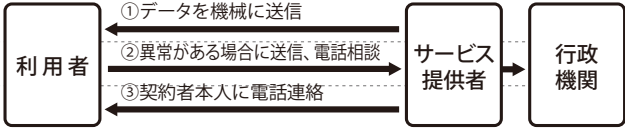


第9回 全国高等学校 ビジネスアイデア甲子園 応募用紙

提出日 2010年 10月 4日

ビジネスアイデア名	高齢者電話サービス(詐欺防止!生活安心サービス)
アイデアの内容	<p>< 記入のポイント > ① アイディアの概要(どのようなものですか)</p> <p>② アイディアを思いついたキッカケ</p> <p>③ これまでのものとの違い</p> <p>④ 商品やサービスなどのイメージ図 などを織り込んでまとめてください</p>
① アイディアの概要	
<p>このサービスは高齢者の方を対象にした詐欺被害防止電話サービスです。主な内容は、(1) ボタン一つで相談員へ電話相談。(2) 振り込み詐欺防止機能、電話の内容(フレーズ)から機械が、振り込み詐欺の内容にあたるかどうかを判断し、利用者にランプで警告する。(3) 振り込み詐欺などに使われた電話番号の受信拒否機能。(4) 電話の内容をボタン一つで録音。(5) 登録していない電話番号、非通知設定などの電話を受信しない。などで、契約者が希望するサービスを選択します。</p>	
② このアイデアを思いついたきっかけ	
<p>私たちの住んでいる上島町は、人口7,575人、うち65歳以上の高齢者が2,112人と高齢化率27.9%の高齢社会です。町内でも高齢者を狙った詐欺などの犯罪が発生しており、何かできることはないかと思いました。全国的にも高齢化が進み、高齢者の単身世帯が増加しています。単身世帯の増加によって、高齢者の孤独化や犯罪被害の増加など様々な問題が起きています。近年、振り込み詐欺などの高齢者を狙った詐欺行為が多発しています。警察庁のホームページによると、平成21年度は被害の認知件数が7,340件、被害総額が95億7,912万円です。被害者全体の90%以上が、年齢60歳代以上の方となっており、高齢者への被害防止のための対策が求められています。このような現状を改善するために考えました。</p>	
③ これまでのものとの違い	
<p>これまでの振り込み詐欺対策は、行政機関による放送や掲示物を通じての注意の喚起や、金融機関による高齢者への声かけなどが中心でした。しかし、これらの対策では認知症が進んでいる人や自分の考えを表現するのが苦手な人、周囲に相談できる人がいない人には効果が不十分だと考えました。私たちの考えたアイデアは、振り込み詐欺防止機能は警察庁や各都道府県警察本部のホームページに公開されている会話例などを元にデータベース化し、電話中に出てくるフレーズから振り込み詐欺の可能性があるものかどうか、機械が判断します。振り込み詐欺などに使われた電話番号の受信拒否機能は警察庁や金融庁などの行政機関が公開しているものを元にデータベース化し、該当する番号から電話が掛かった場合は受信拒否をすることができます。録音機能は第三者に相談するとき役に立ちます。また、機械はシンプルなデザインで高齢者の方でも操作できるよう、分かりやすいものにしました(別紙)。</p>	
④ サービスのイメージ図	
(1) 機械の設置	(2) サービスの流れ
 <p style="text-align: center;">電話機とモジュラー・ジャックの間に機械を設置する。</p>	 <p style="text-align: center;">異常がある場合は行政機関へ連絡。</p>

《 注意事項 》 応募は、本紙またはコピーを使用してください。
 応募要項および応募用紙は当センターへご請求いただくか、「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」ホームページ
 【大阪商業大学】▶【リエゾンセンター】▶【アイデア甲子園】(http://ouc.daishodai.ac.jp/research/high_school/business_idea/)から
 ダウンロードしてください。
 追加資料をつけても構いません。ただしA4・1枚のみ。※規定を超えるものについては審査の対象外となりますのでご注意ください。